



米国発表報道資料意識

## アドビシステムズ社、 2008 年第 1 四半期において好調な売上と利益を達成

売上は前年同期比 37% の伸びを記録

### 【2008 年 3 月 19 日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発（2008 年 3 月 18 日）Adobe Systems Incorporated (Nasdaq: ADBE)（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビシステムズ社）は本日、2008 年度第 1 四半期（2007 年 12 月 1 日から 2008 年 2 月 29 日）の決算結果を発表しました。

2008 年度第 1 四半期の売上は 8 億 9,040 万米ドルでした。2007 年度の第 1 四半期は 6 億 4,940 万米ドルで、2007 年度の第 4 四半期は 9 億 1,120 万米ドルでした。今四半期の売上は前年同期比で 37% の成長を達成しました。同社の今四半期の売上目標は 8 億 5,500 万米ドルから 8 億 8,500 万米ドルの間でした。

アドビシステムズ社の社長兼 CEO（最高経営責任者）であるシャントヌ ナラヤン (Shantanu Narayan) は、「この第 1 四半期の好調な業績は、Adobe® Creative Suite® 3 ファミリー製品に対する好調な需要が継続し、さらに Adobe Acrobat® 製品ファミリーが過去最高の売上を達成したことによるものです。デジタルコンテンツの拡大が加速することにより、世界中のお客様からさまざまなメディアや機器で、リッチで魅力ある体験を実現するアドビシステムズ社製品への要望が高まっています。このトレンドは引き続き当社の事業に対する追い風になると予想され、アドビシステムズは 2008 年会計年度の目標値が達成できることを再確認しています」と述べています。

アドビシステムズ社は 2008 年度第 1 四半期に発行済普通株式の 3,330 万株を 12 億 5,000 万米ドルで買い戻しました。

### 2008 年度第 1 四半期の GAAP に基づく（GAAP ベース）の業績

今四半期の GAAP ベース希薄化後 1 株当たり利益（EPS）は、期間中の加重平均発行済株式数 5 億 7,130 万株に対し、0.38 米ドルでした。前年同期は加重平均発行済株式数 6 億 420 万株に対し、EPS0.24 米ドルでした。2007 年度第 4 四半期は加重平均発行済株式数 5 億 8,790 万株に対し、EPS0.38 米ドルでした。今四半期の GAAP ベース EPS 目標は 0.34 米ドルから 0.36 米ドルの間でした。

今四半期の GAAP ベース営業利益は 2 億 7,540 万米ドルでした。前年同期実績は 1 億 4,630 万米ドル、2007 年第 4 四半期実績は 2 億 7,580 万米ドルでした。今四半期の GAAP 上の営業利益率は 30.9% で、前年同期は 22.5%、2007 年度第 4 四半期が 30.3% でした。

今四半期の GAAP ベース純利益は 2 億 1,940 万米ドルでした。前年同期実績は 1 億 4,390 万米ドル、2007 年度第 4 四半期実績は 2 億 2,220 万米ドルでした。

### 2008 年度第 1 四半期の GAAP に基づかないベース（Non-GAAP ベース）の業績

今四半期の Non-GAAP ベース希薄化後 1 株当たり利益（EPS）は 0.48 米ドルでした。前年同期の EPS は 0.30 米ドル、2007 年度第 4 四半期の EPS は 0.49 米ドルでした。今四半期の Non-GAAP ベース EPS 目標は 0.44 米ドルから 0.46 米ドルの間でした。

今四半期の Non-GAAP ベース営業利益は 3 億 5,900 万米ドルでした。前年同期実績は 2 億 2,380 万米ドル、2007 年第 4 四半期実績は 3 億 6,220 万米ドルでした。売上に対する Non-GAAP 上の営業利益率は、今四半期が 40.3% で、前年同期は 34.5%、2007 年度第 4 四半期が 39.7% でした。

今四半期の Non-GAAP ベース純利益は 2 億 7,300 万米ドルでした。前年同期実績は 1 億 8,360 万米ドル、2007 年第 4 四半期実績は 2 億 8,960 万米ドルでした。

### **2008 年度第 2 四半期の目標を発表、2008 年会計年度の目標を再確認**

アドビ システムズ社は 2008 年度第 2 四半期の売上目標を、8 億 5,500 万米ドルから 8 億 8,500 万米ドルの間に設定しました。同社は、同第 2 四半期の GAAP ベース営業利益率目標を 29% から 30% の間に設定すると発表しました。Non-GAAP ベース営業利益率は、約 39% を目標としています。

さらに、アドビ システムズ社は同社の発行済株式数について、2008 年度第 2 四半期は 5 億 4,600 万株から 5 億 5,000 万株を目標にしています。アドビ システムズ社はまた、2008 年度第 2 四半期の GAAP ベースの営業外収益を 1,400 万米ドルから 1,600 万米ドル、Non-GAAP ベースの営業外収益を 500 万米ドルから 700 万米ドルを目標とし、GAAP ベースと Non-GAAP ベースの実効税率は約 27% と予想しています。

これらの目標値に基づき、2008 年度第 2 四半期の 1 株当たり利益の目標は、GAAP ベースで 0.35 米ドルから 0.37 米ドルの間、Non-GAAP ベースでは 0.45 米ドルから 0.47 米ドルの間と設定しています。

アドビ システムズ社は 2008 年度の売上成長率の目標約 13% を再確認しました。また、同年の営業利益率目標は GAAP ベースで約 30%、Non-GAAP ベースで約 39% であることについても再確認しました。

アドビ システムズ社はまた、2008 年度の 1 株当たり利益の目標について、GAAP ベースの EPS は 1.45 米ドルから 1.51 米ドル、Non-GAAP ベースでは 1.86 米ドルから 1.92 米ドルとしています。

### **将来的観測の開示について**

本プレスリリースは、実際の業績を大幅に異ならせる可能性のあるリスクと不確実性を内包した売上、営業利益、営業外収益、実効税率、株式数、1 株当たり利益、ビジネスの成長に関連する将来的観測を含みます。そのような原因となり得る要素として、以下が挙げられますが、必ずしもこれらに限られるものではありません。

- 新製品、または既存製品の重要な新しいバージョンの開発や出荷の遅延
- 既存の、または新たな競合他社による新製品およびビジネスモデルの市場投入
- 新たなビジネスモデルや新たな市場への移行の失敗
- アプリケーションソフトウェアとソフトウェアの提供、コンピュータ、プリンタ、およびその他の PC 以外の機器需要の変動を予測できなかったことによる新製品およびサービス開発の失敗
- アドビ システムズ社が事業をおこなっている主要地域での一般的な経済、政治的環境の不利な変化

- ・ 新規事業からの売上予測の難しさ
- ・ 知的財産の取得、紛争、訴訟に伴う費用
- ・ アドビ システムズ社の知的財産を不正コピー、不正使用、不正開示、または悪意ある攻撃から保護できないこと
- ・ 過去および将来の買収において見込まれた利益の達成困難およびそれら買収先の統合の難航
- ・ 流通経路の変更
- ・ 天災、大惨事による事業中断
- ・ 国際的な事業展開によるリスク
- ・ 外国為替相場の変動
- ・ 会計原則の変更またはその解釈
- ・ アドビ システムズ社の営業権または無形資産の減損
- ・ 税に関する法律と規則の予期せぬ変更またはその解釈
- ・ 主要な人材を集め、維持することができないこと
- ・ 株式投資に伴う市場リスク
- ・ 製造委託業者との取引関係の中断または解除

これらおよびその他のリスクと不確実性についての解説については、当社が証券取引委員会 (SEC) に提出した書類をご参照下さい。

本プレスリリースに記載された財務情報は現時点で得られる情報に基づく推定を反映したものです。これらの金額は、アドビ システムズ社が 2008 年度第 1 四半期 (2007 年 12 月 1 日から 2008 年 2 月 29 日) について 2008 年 4 月中に提出予定の四半期報告書 (Form 10-Q) に記載される実際の業績数値とは異なる場合があります。アドビ システムズ社はこれら将来的観測を更新する義務を負うものではありません。

### **アドビ システムズ社について**

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザの、アイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイト <http://www.adobe.com/jp> に掲載されています。